

本から学び自らの考えを深める

参考となる図書館資料の展示及び提供

地域

図書館等

図書館は、その豊富な蔵書の中から読みたい本を自由に選択し、読書の楽しみを知ることができる場所です。ただし、その豊富な蔵書も、書架に並べているだけでは、子供たちの興味・関心を惹くことができません。

子供の読書への関心を高めるためには、図書館が保護者や学校関係者、読書活動ボランティア等に対しても本や資料の情報を提供し、大人があらゆる機会をとらえて、参考となる本や資料を子供に紹介することが必要です。

県の取組

【本から学び自らの考えを深める参考となる図書館資料の情報提供】

県立図書館では、資料展示やホームページ等で図書館資料の紹介に取り組み、子供の発達段階や実態に応じた図書館資料の情報の提供を図っていきます。

- ・中・高校生世代を対象とした「青少年図書モデル展示」における生き方や進学・就職に関する資料の充実
- ・生き方につながる課題をテーマとした図書館資料展示の実施や展示図書リストのホームページ掲載及び市町立図書館や学校等への提供

指標

- 青少年を対象とした本の紹介を行っている公立図書館

※ 本の紹介は、図書館だより、リーフレット、リスト、ホームページ、SNS等による。

現状値
(H29)20 市町

目標値
全 23 市町

(広島県公共図書館協会「県内公共図書館等の活動状況」)

県立図書館の取組



図書館資料の展示・貸出し、図書リストの提供
青少年が「本を読んで生き方を考える機会」の一環として、図書館資料の展示・貸出しを実施しています。

また、展示資料リストをホームページに掲載し、展示終了後も図書リストとして活用できるようにしています。

本に親しむ

地域における読書への関心を高める取組の実施

地域

図書館等

地域においては、それぞれの市町が読書計画を策定し、子供の読書活動推進に取り組んでおり、その中でも公立図書館は、地域における読書活動の中心的役割を担っています。

図書館はその豊富な蔵書から、子供が読みたい本を自由に選ぶことができる場であり、司書や司書補が相談役として読書活動を支援してくれる場でもあります。子供たちが本に親しむためのイベントや、推薦図書等の情報提供、読書を通じた体験活動（「子ども司書」、ブックトーク、ビブリオバトル等）の場を提供することも大切になります。

また、子供の読書活動を推進していく上で、地域が家庭や学校と連携することは非常に重要なことです。例えば「ブックスタート」事業等、乳幼児と保護者に対して本に触れるきっかけづくりとなる活動や、地域で実施されるおはなし会は、家庭での読書のきっかけとなります。公立図書館が学校図書館と連携することで、学校における読書活動も充実したものになり、子供がより本に親しむことができます。

県の取組

【地域におけるイベント等を通じた啓発】

おはなし会など、子供が読書に親しむためのイベントの開催を促します。また、全市町で「子ども読書の日」に関する取組が行われている状態を継続し、内容の充実を目指します。

指標

- 「子ども読書の日」に関する取組を行っている市町

現状値
(H30)全 23 市町

目標値
全 23 市町
(継続)

(『子ども読書の日』に関する取組予定状況調査)

県の取組

【図書館におけるイベント等を通じた啓発】

県立図書館においては、ボランティアと協力して、「けんりつ・おはなし会」を定期的で開催するほか、こども家庭センターや児童自立支援施設等における絵本の読み聞かせ等を行います。

市町立図書館における「子ども司書」の活動やビブリオバトル開催等を促します。

【学校図書館の支援（県立図書館）】

県立図書館では、学校図書館支援事業や教員のための図書館活用講座等を実施し、学校図書館の活用が一層進むよう、支援します。

県の取組

【家庭と連携した活動の支援】

乳幼児健診やネウボラ等，多くの親子が集まる機会に，公立図書館や読書ボランティア等が福祉部局と連携して本に親しむきっかけづくりに取り組むことを支援します。

また，家庭教育を支援する活動を行っているボランティアグループなどの様々な団体へ，読み聞かせ用絵本の貸し出しを行います。

指 標

- 乳幼児健診等多くの親子が集まる機会に，読み聞かせの体験等乳幼児と保護者に対して，本に触れるきっかけづくりの活動を行っている市町

現状値
(H29)21 市町

目標値
全 23 市町

(広島県公共図書館協会「県内公共図書館等の活動状況」)

地域における取組例



「子ども読書の日」に関する取組

毎年4月23日は「子ども読書の日」として，各公立図書館において展示やイベントなどの取組を行っています。

(県立図書館)



地域と学校の連携に関する取組

読書ボランティアによる学校での読み聞かせは，子供たちが本に親しむきっかけとなります。

(安芸高田市立美土里小学校)



家庭との連携に関する取組（ブックスタート）

尾道市では，市社会福祉協議会を中心として，図書館，民生児童委員，保育・読み語りボランティアなど多くの関係者が連携し，0歳児，1歳半健診時等にはなし会や子育て相談等を実施しています。